

新基地やめて、
コロナからくらし再建を

しまぶく

けい すけ
恵祐

日本共産党 オール沖縄

新基地建設2兆5500億円、県民一人あたり175万円。
このお金を県民のくらし・経済再建へ。

- すぐ検査できる体制と病院支援を
- 文化・芸術・スポーツの損失補填を
- 米軍基地のコロナ情報開示を
- 消費税はすぐ5%に、さらにゼロへ
- 中学卒業まで通院医療費無料に
- 中高生のバス代無料に
- 国保料・介護保険の負担軽減を
- 性の多様性を尊重する沖縄県宣言を

略歴

● 1986年沖縄市高原生まれ。高原小・美東中・北中城高校卒。● 元自衛官。島マス記念塾21期会長、赤嶺政賢衆院議員秘書を歴任。● 2014年県議補選に立候補。



県知事
玉城デニー



嘉陽県議の「オール沖縄」の33歳若いカへあとつぎ

沖縄市区で「オール沖縄」が多数になるかは、しまぶく恵祐さんにかかっています。
玉城デニーをささえるしまぶく恵祐。

しまぶく 恵祐に

4つの仕事をやらせてください

応援します



衆院議員
屋良朝博

後援会会長
玉城デニー
呉屋守将

オール沖縄
会議共同代表
照屋義実

弁護士
新垣 勉

中部協同病院
院長
与儀洋和

看護師
猪原恵美

市議
池原秀明

市議
前宮美津子

前市議
千葉綾子



●県議補選のとき、
高原交差点前で

玉城デニー知事を支えて 辺野古とめるしまぶく

- 28歳のとき、県議補選に挑み、翁長知事候補と「オール沖縄」でたたかったしまぶく。
- 「あらゆる手段を駆使して、新基地建設をくい止めたい」——翁長さんの言葉を忘れず、県民投票条例

成功へ力をつくしたしまぶく。
●いま、国民世論で検察庁法改正が今国会見送りになるなか、「国民の理解は得られない、辺野古は撤回すべき」と安倍政権にせまる玉城デニー知事をしっかり支えます。

無料相談43年 嘉陽^{県議}のあとつぎ しまぶく

- お金のあなしに関係なく、困っている人、悩んでいる人の苦しみの解決へ、無料相談を43年間続けた嘉陽宗儀県議。
- 「こんどは誰か困っている人がいたら、私が助ける側に回りたい」——嘉陽県議の活動を引き継ぎ、高原に無料相談所を開設したしまぶく。



元自衛官、20歳で命奪われた兄 医療まもるしまぶく

- 「家計を助けない」——双子の兄・英吉と自衛隊に入隊したしまぶく
- 訓練中に暴行をうけて亡くなった兄。私たち家族が、兄の死因を国へ求めたとき、調査報告書の兄の名前まで「黒塗

り」に。裁判をおこして、勝利しました。
●「命とは何か」「人権とは何か」と考えたしまぶく。「命どう宝」、一人一人の命を大切にするために、医療まもる政治へ全力をあげます。



●左が兄・英吉、
右が恵祐
●兄・英吉の絶筆
の書「命どう宝」

検察庁法改正が今国会見送りに 安倍自公政権に怒り 国民の声で政治は動く！

「オール沖縄」で新基地許さない
共産・しまぶく恵祐か

沖縄市の焦点

安倍政権いいなり新基地容認
自民か

33歳若い力、青年の代表 学費下げるしまぶく

- コロナ禍で学費が払えない学生。しまぶくは国の責任で学費は半額にするなど、若者支援へ全力をあげます。

